



末広

【学校教育目標】

〇すすんで やりぬき子 〇えがおで 元気な子
 〇広い心で やさしい子 〇六年間を 自ら学ぶ子
 《令和3年度の重点》
 ・自分の良さを活かし、支え合いながら
 力を高める子を育む
 ～わたっていいな！きみってすごい！

令和4年3月24日発行 第13号 千歳市立末広小学校 TEL：23-4127 FAX：23-4128

令和3年度 学校評価アンケートの結果

今年度の学校の取組についての、昨年末に実施しました保護者アンケート結果や職員による自己評価について、保護者・地域の皆様にご報告致します。

1. 学校自己評価・学校関係者評価の結果

【今年度の重点】；自分の良さを活かし、支え合いながら力を高める子を育む

～わたっていいな！きみってすごい！～

【学校評価の方法】 8月 中間評価
 12月 保護者アンケート
 12～1月 学校自己評価 など

【学校評価と改善方策】

分野	項目	改善方策	評価			
			A	B	C	D
学校づくり	1 学校経営	マチコミメールの登録協力により、全家庭加入となった。配信後の迅速な開封確認を呼び掛けているところである。今年度のような悪天候による臨時休校措置なども想定し、地域の方や見守り隊の方にも同時に学校情報を配信できるよう登録を呼びかけていく。	86%	14%	0%	0%
	2 研修活動	検証授業の事前・事後協議を進めながら、指導力向上に向けた研修を実施することができた。今後も指導技術の向上と教材研究を通じ、子どもたちに楽しくわかる授業ができるよう研鑽していく。	47%	53%	0%	0%
	3 教育課程	各種学力検査などの結果を分析し、苦手な傾向を捉え授業改善や朝学習の時間を利用して計画的に学力向上を図っていく。	87%	13%	0%	0%
の向上 確かな学力	4 学習指導	少人数指導や支援員・指導員の活用を図り、個に応じた指導の充実を進める。個に応じた柔軟な学習指導を進めていけるよう努める。	73%	27%	0%	0%
	5 総合的な学習の時間	今年度も、科学技術大学に協力頂き対象を2学年に拡充してプログラミング教育に取り組んだ。地域人材の協力を得ながら、さらに体験的な学習の充実を図る。	67%	33%	0%	0%
豊かな心の育成	6 道徳指導	元気な挨拶や適切な言葉遣いを指導してきた。校内だけでなく、登下校時の見守り隊の方や地域の方に対しても気持ちの良い挨拶ができるよう声掛けを続けていく。	27%	67%	6%	0%
	7 特別活動	自主的諸活動は、変更や制限の中で例年通りにいかなかった。学校全体一斉での取り組みは難しい状況が続いているが、小集団で可能な活動について模索していく。	20%	67%	13%	0%
	8 生徒指導	教職員の共通理解のもと、児童の意識を高めて、ルールを守ろうとする態度、いじめは絶対許されないものという意識づくりを進めてきた。今後も家庭と連携していく。	53%	47%	0%	0%
	9 キャリア教育	ハイパーQUテスト等を活用し、児童の現状把握と指導に生かしてきた。キャリアパスポートの活用も進めながら自己有用感を育てていく。	53%	40%	7%	0%
のしたくま いい体	10 健康安全教育	コロナ下でも工夫しながら、各種訓練の実施・指導を行い、非常時に備えていく。悪天候の際の安全確保や連絡体制についても様々な想定を考慮し計画・実践していく。	47%	40%	13%	0%
援特別支 教育	11 特別支援教育	教育相談、支援員活用は推進が図られた。関係機関との連携や保護者との共通理解等、計画的に進めていく。支援級開級に合わせ、支援を要する児童への理解や支援体制の充実を図っていく。	73%	13%	0%	0%
教育さ とふる	12 ふるさと教育	アイヌ文化学習が特色ある取組として、外部人材と職員が協力し、計画的に進められた。今後も継続・充実していけるよう、引継ぎ体制の整備を進めていく。	93%	7%	0%	0%
他 その	13 今日 的課題	タブレット導入を受けデジタル教科書を活用した学習を通じ、学習効果に表れている。機器の特性を生かし、児童機導入時の指導法について効果的な研修を促進していく。	73%	27%	0%	0%

2. 保護者アンケート結果（回収数 251 件）

<%で表しています>

	質問事項	A	B	C	D
1	学校は、学校の方針や子どもたちの活動の様子などをくわしく伝えている。（各お便り、学校長の説明、懇談会、ホームページ・メール配信など）	49	49.4	1.6	0
2	学校は、子どもたちに基礎的・基本的学力が身につくよう、授業及び家庭学習啓発など様々な工夫に努めている。（ICT 活用、少人数指導、宿題や家庭学習など）	47	50.2	2.8	0
3	学校は、千歳市および学校独自の特色ある教育活動を進めるとともに、地域の方とのつながりを大切に、地域に開かれた学校運営に努めている。（アイヌ文化学習や体験学習、見守り隊などとの連携・コミュニティースクール事業の推進）	68.5	30.7	0.8	0
4	学校は、子どもたちのすこやかな体の育成に努めている。（体育学習の工夫、いきいきタイムウィークなど）	44.2	49.8	6	0
5	学校は、子どもたちが良いあいさつや正しい言葉遣いができるよう取り組んでいる。	34.2	54.2	10.8	0.8
6	学校は、命を大切にする気持ちの育成など、子どもたちの豊かな心の育成に努めている。	33.5	59.3	6	1.2
7	学校は、火災や地震、不審者等に応じた児童の安全確保と感染症予防及び状況に応じた迅速な対策に努めている。（避難訓練・交通安全指導・衛生状態の管理など）	51	45.4	3.2	0.4
8	学校は、子どもたちの学習環境を整備している。（清掃美化、掲示の充実、整理整頓など）	46.2	51.8	2	0
9	学校は、子どもや保護者の悩みや相談などに丁寧に対応し、保護者が協力・支援できるように努めている。（相談対応、PTA 活動協力など）	46.2	47	6	0.8
10	学年だよりや学校だよりなど、学校からのお便りによく目を通すようにしている。	62.1	36.3	1.6	0
11	お子さんに望ましい生活習慣や安全への意識が身につくよう、家庭でも取り組んでいる。（早寝早起き朝ご飯、あいさつ、交通安全、外遊びでの事故防止など）	44.2	54.2	1.6	0
12	学校では毎日宿題や家庭学習に取り組むよう指導していますが、ご家庭でお子様の家での学習に声かけ・見届け・励ましなどを行っている。	47	48.6	4.4	0
13	授業参観や PTA の各種活動へできるだけ参加したり、PTA 委員などを引き受けたりしている。	32.3	54.5	10.4	2.8

3. 保護者アンケートの記述欄ご意見から

★たくさんのご意見を頂きました。頂戴したご意見は全職員で確認し次年度の教育活動に生かしてまいります。

<ご意見>

- ・たまに宿題がない日があっても良いのかなと思います。宿題を気にせず放課後に遊ばせたいです。
- ・他校に比べて、当学校は宿題の量が多すぎると感じております。
- ・習い事等配慮しながらプリント学習等宿題の量を最小限にしてい、子供や親への負担が軽減されていると思う。
- ・家庭学習ですが、公文三教科を本人の希望で習っています。家庭学習に入らないようなので、家庭学習の内容を学校の内容の予習復習だけでなく、塾などの宿題も入れていただけたらと思っています。学校の宿題の後に公文の宿題を毎日ではないのですがやっています。公文を一時間位学習するので、今の感じだとそこで集中力が尽きてしまうようです。教科が偏りがちにはなりますが、家庭で勉強をしていないわけではないので本人もなぜ家庭学習ではないのか、少々納得いかない部分もあるようです。よろしくお願い致します。
- ・夏休み、冬休みの自由研究は不要かと思います
- ・先生方の熱意や子供たちへの対応には感謝しております。家庭と先生、子供たちにとって近い存在と第三者からの連携された指導ほど効果的なものはないと思います。とても良い学校生活が送れていると思います。
- ・習熟度別の授業について、詳しく知りたいです。
- ・休んだ時の学習フォローがもう少しあるといいなと思います。
- ・ランドセルが重すぎるので、学校に置ける教科書等は学校に置いたままにして欲しい。
- ・高学年の 40 人学級は密になるし、多いと思うので、考慮して欲しい。
- ・クラスの人数が多すぎる。クラス替えが無い学年なのは理解していますが、この春は 3 クラス編成にする対応をして欲しかったです。

○家庭学習の習慣は発達段階に応じ、時間をかけて身に付けさせていくものです。学校でも、「家庭学習のすすめ」を配付したり、見本となる家庭学習を展示したりして、取り組み方について指導しています。特に、今年度はテーマを決めて家庭学習に取り組むことで、学習内容面で幅が出てきたように感じます。今後ともご協力をお願い致します。課題の内容や分量については、学年が上がるにつれ子どもたちの個人差が大きくなるため、一律の分量に取り組ませるのが難しくなります。どの子にもできて、達成感を感じられるものを意識しています。

○学習用具については教室保管できるものや時間割編成の工夫など子どもたちの負担も考慮していきます。

○学級定数が定められており、40 人学級という編成になりました。少人数指導等授業形態の工夫によりできるだけ個に応じた指導ができるよう努めてまいります。

- ・コロナ禍で今年の学習発表会をクラス単位にしたことで、子供の頑張る姿がよく見えました。今後もクラス単位を希望します。
- ・コロナ対策として学級別に学習発表会を開催し、学年別に運動会を開催して頂いたのはとても良かったです。
- ・運動会は 2 部制等でお昼の持参をなくして欲しい。
- ・コロナ禍の影響もありますが、クラス別に体育館での授業は良かったと思います。次の参観日では、書写、親子で床に座っての習字、子供達にとっても貴重な体験になるでしょう。体育館にしているような授業を行ってほしいです。
- ・コロナ禍でも感染対策等をして、行事をできる限り行って頂けたのにとっても感謝しています。学習発表会は中学年らしいとても素晴らしい発表でした。参観日も定期的に行って下さり、授業での様子を見る事ができました。また、いつも先生には、本人の特性に合わせて細やかな対応をして頂き感謝しています。ありがとうございます。

- ・コロナ禍でも安全な授業参観や運動会の開催に努力してくれた。
- ・参観日は昨年に続き体育館で実施のため、仕方がないかもしれませんが、今年は担任やクラス替えもあり雰囲気かわからないので、親の参加型ではなく普通の授業の様子を見たいです。
- ・前期前半の家庭訪問と個人懇談の時期が近いのではと思います。どちらかを後半または後期にしたほうが、お互いに様子が変わってきたりして、話したいことが出てくるような気がします。
- ・コロナ禍の状況が続いて、色々と制限があり先生方は対応など大変かと思います。これから子供たちが、より良い環境で学生生活を送れたらありがたいと思います。
- ・子供達のマスクを外で外している事が少し。
- ・このご時世なので石鹸などによる手洗いの徹底や清掃を強化してほしい。
- ・子供が元気に通学できている環境、現状に感謝しかありません。

○実際に普段生活している教室の様子もご覧いただきたいと考えていますが、今年度は体育館での参観とさせていただきます。ワ
運動会・学習発表会など、現状で可能な形での実施とさせていただきます。ご理解・ご協力いただきありがとうございます。ク
クチン接種も進んできたこともあり、今後の感染状況を見ながらとなりますが従来に近い形での参観授業の方法についても検討・模
索してまいります。感染症拡大防止に向け、気を緩めることなくマスク着用と手洗いの励行を今後も続けていきます。

- ・月1発行の「未広」が前月最終日だったのが2週間位前にもらえるようになり、多少の変更があっても習い事や仕事の予定が立てやすくなり助かっています。
- ・学校だよりに昨年のように2か月分の行事予定を掲載してもらえると、仕事の調整がしやすいので、可能であればお願いします。
- ・子供の学校の様子を学級通信等でお知らせしてもらえると、とても良いと思っています。
- ・ホームページの更新が他の学校に比べて少ないと思います。
- ・改善して欲しいところは、子供がプリント類を紛失するので月間行事等、期日のある提出物のお知らせもメール配信していただけたら助かります。

○ホームページの更新はもう少し小まめにできるよう次年度善処します。欠席児童向けで始めた時間割のメール配信ですが、ご意見をいただきながら、次年度も継続していくか判断します。2か月分の行事予定掲載ですが、2か月先までが見通せず、変更も多かったことから、今年度は1か月ごとの掲載としました。ただし、予定を早く知りたいというお声をいただいておりますので、月末発行を一週ほど繰り上げた形でお配りできるよう次年度も取り組みます。

- ・学校での様子を聞くと、傷付くような言葉を言われていたり、脅しとも受け取れる言動を受けていたりします。「何をされるかわからない。学校が怖い」という事もあります。良いところを伸ばすのも大切ですが、悪かったところも認め、嫌な思いをしている子が、どんな思いでいるのか考えられるよう指導してほしいと思います。自分が良ければ良い！という子が多すぎます。
- ・先生から子供たちへの言葉使いや、声かけが気になります。
- ・朝の行きしぶりに対応して下さり感謝しております。
- ・子どものことで何かあると丁寧に対応して下さりいつも有り難い気持ちです。これからも宜しくお願い致します。
- ・下校指導、下校中のじゃれあいや度目のこえるものを何度かみえています。
- ・悪天候の時の送迎の対応を何とかして欲しい。緊急時の路上駐車がダメならグラウンドを解放するか学年ごとの分散下校などするべきではないだろうか。マチコミも言葉足らずでわからないことがある。路上駐車をするのは停車する場所はもちろん言葉足らずでどうしたらいいかわからないから一斉に向かうのだと思う。他校では分散で時間を決めてお迎えをしていると聞いたので未広小学校ももう少し細やかにやってもらえたらありがたいです。
- ・下校訓練で保護者が迎えに行く際のマチコミメールの画面を先生に見せて下さいと指示がありましたが、どの画面を見せたら良いのか判断が付きにくかったので、具体的な指示してほしいです。
- ・警報が出ている時の登園・下校についてのルールがもっとあるといいと思います。マチコミを使ってもっと密な連絡が欲しいです。
- ・暴風雨の時に近郊の小学校は集団下校や早く切り上げて送迎可能にしていたが、未広は子供単独での下校で不安を覚えました。せめて集団下校などで対応をしてほしかったです。
- ・転校してきてます思ったのが、登下校です。特に下校時は自由な為、走る子供達が多かったり、3列、4列で歩いていたりして危ないと思います。自分の子供も含め、走っている子供達をみると大丈夫かな？と心配になります。
- ・集団登校下校の習慣が北海道ではないので1年生の女の子なのでこのご時世1人で登下校をすることがとても心配。地域で家の近い子ごとにグループを作り集団で登下校する体制があるといいのになと思います。
- ・事件発生時や悪天候時に教員引率で集団下校を行う場合があるが、教員と児童の命を守るためにも、その様な場合は学校待機とし、保護者に迎えに来てもらうべきである。

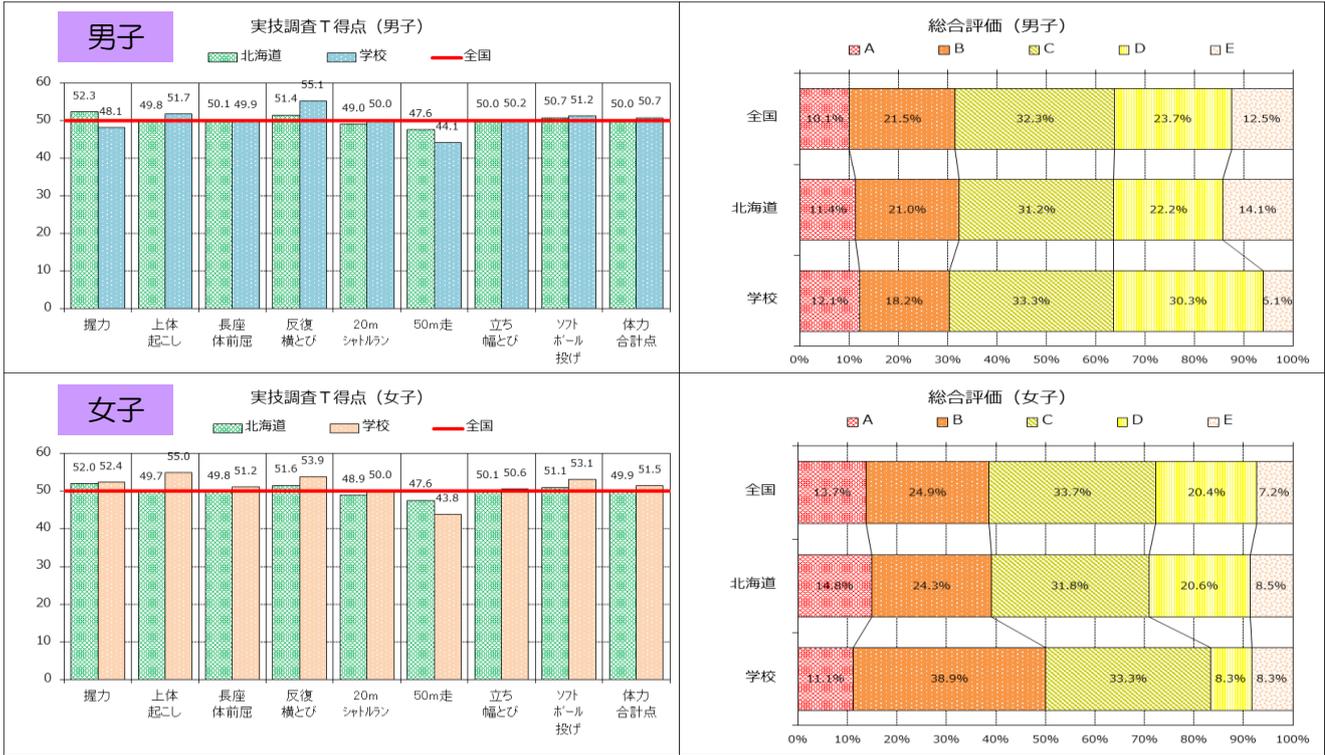
○挨拶・正しい言葉遣いについては、教師はもとよりまわりの大人たちが範となるような意識を持つことが大切です。あたたかな言語環境や支持的風土のある学級・学校づくりを基盤に思いやりのある子を育てていきます。
○登下校時の通学路の歩き方についても、声掛けだけでなく実際に通学中の児童に直接働きかけることも必要です。PTA 登下校指導係なども増やしなが、教職員・保護者・地域が一体となって見守り活動を進めていきます。また緊急時の対応についても、様々な想定を考えながらより安全な方法となるよう検討します。迅速な連絡手段としてメール登録にご協力ください。

- ・この地域に住んでいるからこそ学べる内容を取り入れた授業があり、私達も子どもを通じて勉強させて頂いています。学年によって理解できるレベルを考えて、楽しく学べるよう工夫されていて素晴らしいと思います。
- ・アイヌ文化学習に積極的。アイヌ文化に触れる環境を作っていただいているのは、とても良いと思います。これからはたくさん体験できたら良いと思います。
- ・読書の時間を設けていることはとても良いことだと思います。今後も継続して頂けると嬉しいです。
- ・委員会活動など子供主体の活動が多くとても良いと思う。
- ・コロナ禍ではありますがPTA 活動の方針を少し早めに伝えて欲しかったです。
- ・父兄による読み聞かせは、活動を通して学校での子供の様子を観察できるため。
- ・スケート靴の貸し出しをして欲しい。

○アイヌ文化学習については、本校の特色ある教育活動の一つとして長い年月をかけて創り上げました。地域という入り口から、人権・共生についても学ぶ貴重な学習であり、今後もできることを工夫しながら学びを止めることなく、6年間かけて積み上げていきます。また、保護者や地域の皆様にもどんな活動をしているのか、ホームページや学校だより等で紹介させていただきます。

2021年度の全国体力・運動能力テストの結果

昨年の6、7月に5年生が実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の集計結果が届きましたので、お知らせします。



【総合評価】は合計をA～Eの五段階評価したものです。
全国平均をのこした「T得点」による比較

★末広小5年生と全国との比較

↓～全国平均より下 ↑～全国平均より上 —～全国並み

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	↓	↑	↓	↑	—	↓	↑	↑	やや全国より高い
女子	↑	↑	↑	↑	—	↓	↑	↑	全国より高い

- 男女ともに「上体起こし」「反復横跳び」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」において全国を上回りました。特に女子では、8種目中6種目が全国を上回りました。
- 男女ともに、「50m走」において全国を下回りました。
- 体力合計得点：男子は全国よりもやや高く、女子は全国よりも高いといえます。
- 総合評価：男子…D層が多く、E層が少ない。 / 女子…B層とC層が多く、D層が少ない。

★運動の習慣や意識の調査結果 (児童質問紙から 全国の割合との比較で)

	良い傾向にある点	課題と考えられる点
男子	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが大切なことだと思っている子が多い。 ・運動やスポーツをしているときに、友だちと一緒に活動できることが楽しいと感じている。 ・睡眠時間をしっかりと確保できている子の割合が全国よりも高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツをすることが「やや嫌い」「嫌い」と思っている子の割合が全国よりも高い。 ・朝食を毎日食べる子の割合が全国よりも低い。
女子	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業の中で、友だちに教えてもらったり真似をしたりすることができるようになったと感じている。 ・難しいことでも失敗を恐れずに挑戦しようとする子が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツをすることが「やや嫌い」「嫌い」と思っている子の割合が全国よりも高い。 ・体育の授業が「あまり楽しくない」「楽しくない」と思っている子の割合が全国よりも高い。 ・朝食を毎日食べる子の割合が全国よりも低い。

友だちと一緒に活動することで運動することを楽しんだり、できることが増えたりしていることがうかがえます。その一方で、運動することを嫌う傾向が若干見られます。また、朝食の摂取率については、全国平均と比較すると、朝食を摂らない、または、摂らないことがあると回答した子の割合が高いということもいえます。しっかり寝たり、食べたりすることは、この時期の子どもたちの成長に必要な不可欠なことです。

今回の結果を踏まえ、末広小学校では、子どもたちが進んで運動できる環境づくりをし、運動することの大切さや楽しさを体感させていきたいと考えています。